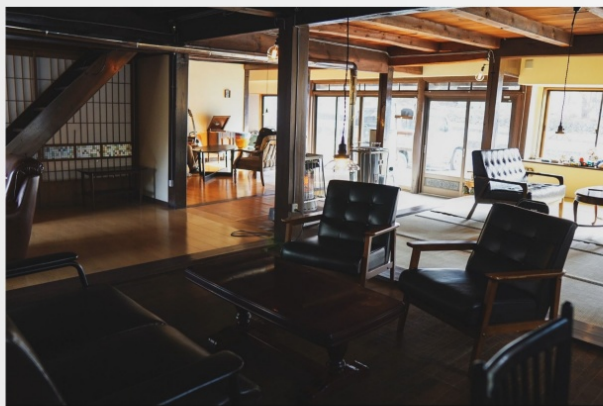




Ryosuke
Tabata
Kuji/Yamane



YAMANECO COFFEE LAB



改装費用と協力隊経費の活用

条件 市役所との契約業者のみ

改装費用 1年目約50万+ 2年目約60万(カフェ)
3年目約30万(キッチンカー)

予算 協力隊予算に修繕費の項目を追加し、改装費用として使用。

その他 大阪へのコーヒー修行も負担金として算出





コーヒー器具・家具は 予算で買えない

市内の契約業者さんに専門の器具を取り寄せてくれるところがあれば、予算を使って購入すべき。

雰囲気にあう椅子や机を手に入れるため、ジモティやヤフオクを使ってなるべくコストを下げて集めた。

カリモクのソファや椅子、机等 計15点ほどを10万ほどで(レンタカー代や高速代を含め)



改装費用と協力隊経費の活用

条件 市役所との契約業者のみ

改装費用 1年目約50万+ 2年目約60万(カフェ)
3年目約30万(キッチンカー)

予算 協力隊予算に修繕費の項目を追加し、改装費用として使用。

その他 大阪へのコーヒー修行も負担金として算出



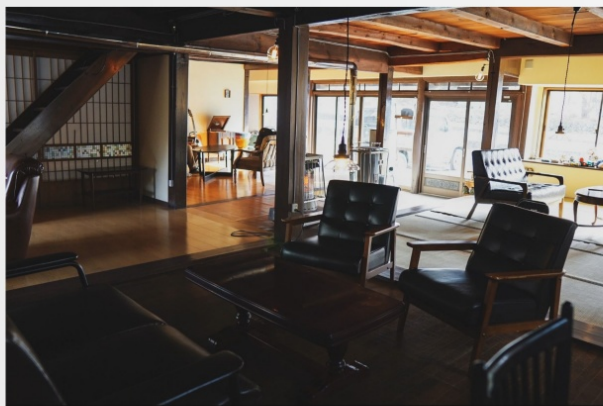


内装は知り合いのデザイン 科出身の方に

その地域にある独特な建築の方法を生かした作りのま
ま何かを作りたいときは、それを知っている人と相談
しながら。

そうでなく、一から作り上げるときはその地域の建築
の人にデザインまでやってもらうと既存のものと同じ
(似たような作り)になってしまう可能性もある。

また、自分のアイデアを具現化できる人を直接orSNS
で探して、知らない人でも意見をもらうこと。



改装費用と協力隊経費の活用

条件 市役所との契約業者のみ

改装費用 1年目約50万+ 2年目約60万(カフェ)
3年目約30万(キッチンカー)

予算 協力隊予算に修繕費の項目を追加し、改装費用として使用。

その他 大阪へのコーヒー修行も負担金として算出





できるところは自分で

費用を減らすため、地元の元大工さんと一緒に改装を行った。

また、クロス張りなどもできるところは自分で行った。(洋野町のヒロノバさんも参考にしてください。)

古民家や築年数が古い家に関しては、徐々に年代に合わせて改装(中途半端に新しく)しているところもあるので天井をはがしたりすると昔の雰囲気が出たりする可能性もある。



改装費用と協力隊経費の活用

条件 市役所との契約業者のみ

改装費用 1年目約50万+ 2年目約60万(カフェ)
3年目約30万(キッチンカー)

予算 協力隊予算に修繕費の項目を追加し、改装費用として使用。

その他 大阪へのコーヒー修行も負担金として算出





業務の商売

Ryosuke
Tabata
Kuji/Yamane



YAMANECO COFFEE LAB



協力隊の中で商売をしている点

- ①協力隊の募集の時点で「カフェを開く」というミッションのもと来ている。自治体・行政がそれに向けて一緒にやっていく。
- ②商売をしているが、自分の立場は個人事業主ではなくあくまで市に所属する地域おこし協力隊である。協力隊の業務の一環として、カフェを運営している。
- ③カフェ・キッチンカーでの売り上げは、年度末で±0にすることが決まっている。この売り上げの中でカフェに必要な消耗品や備品の購入を行っている。（普代村元協力隊山火さん参考）



Ryosuke
Tabata
Kuji/Yamane



YAMANECO COFFEE LAB



キッチンカーについて

- ①協力隊起業補助金を活用
- ②車体はメルカリで購入、大阪で研修後、神奈川で乗りそのままキッチンカーで帰宅
- ③平日はキッチンカーにて市街地や洋野町にて出店。
- ④扱う豆、エスプレッソマシンの導入、メニュー、宣伝方法などは、なるべく他とはかぶらないような形で行っている。
- ⑤経費に関してはカフェと同じ。



Ryosuke
Tabata
Kuji/Yamane



YAMANECO COFFEE LAB



地域の方の反応など

- ・一人で住んでいる方が、家からでてきてくださる回数が増えた(健康面)
- ・地域のふれあいサロンや編みぐるみ教室など、町内・町外の方がくる理由ができた。
- ・ここはこうしたほうが良い、この地域にあっていないなど、そういう意見もあった。



Ryosuke
Tabata
Kuji/Yamane



YAMANECO COFFEE LAB



任期後の話

- ① コーヒー屋を続けていく。(来年度は焙煎機を導入)
- ② ペっぴんの湯再開後、カフェの方での集客も考える。
- ③ ワークショップ等の開催。
- ④ 活動の場所を広げる。(盛岡、県南等)

思うこと

思うこと

現状・思っていること

- ①三年後、何か商売をしてその地域に残る気持ちが少しでもあるのであれば、卒業後のオープンではなく、任期中に始めるべき
- ②現状維持の人、前例がないからという理由でやりたいことが進まないことは多くある。やり方を考えながら交渉する。
- ③何かすれば「それはこの地域に合っていない。郷に入っては郷に従え。これした方が良い」という人は多くいる。あまり気にしないこと。
- ④協力隊の気持ちをしっかりと聞き、具現化や実現に向けて手助けしてくれる人は必要（行政+ その他）。協力隊側はそれに自分の気持ちをわがままに伝えることも必要。
- ⑤行政や自治体が協力隊の募集に提示するものは本当に現実的に三年後生きていけるものなのか再確認。ただの手伝いで呼んでいないか。
- ⑥もし専門の知識が必要で、地域にその知識を持った人がいない場合、SNSでも知らない人でも突っ込んでいく勇気が必要



任期後の話

- ① コーヒー屋を続けていく。(来年度は焙煎機を導入)
- ② ペっぴんの湯再開後、カフェの方での集客も考える。
- ③ ワークショップ等の開催。
- ④ 活動の場所を広げる。(盛岡、県南等)

思うこと

思うこと

現状・思っていること

⑦地方は多様性に関しては正直に低いですが、それは新しく何かを始めるチャンスだと思う。あとは、その地域の人、自治体の人間が若い人がやろうとしていることに首を突っ込むのではなくサポートできるか。

⑧最初から地域に還元する活動にするにはと考えるとスタートが遅れる可能性がある。やりたいことをやってみて、ある程度形になってからどう還元するか考えても良いと思う。考えるよりも先に行動と経験がパワーになることもある。

⑨自分のペースでやること。やれる範囲からちよつとずつやってみる。





任期後の話

- ① コーヒー屋を続けていく。(来年度は焙煎機を導入)
- ② ペっぴんの湯再開後、カフェの方での集客も考える。
- ③ ワークショップ等の開催。
- ④ 活動の場所を広げる。(盛岡、県南等)

思うこと

思うこと



Ryosuke
Tabata
Kuji/Yamane



YAMANECO COFFEE LAB